

2026年度上富田町立上富田中学校(学校経営方針)スクールプラン

上富田町「めざす子ども像」

- すすんで考える子
- 心豊かに活動する子
- 体をきたえる元気な子
- ふるさとを誇りに思う子
- 視野を広くもつ子

保護者・地域の願い

- どの子も元気に楽しく通える学校
- 確かな学力と進路保障
- 人の気持ちがわかる人に育ってほしい
- 地域に誇りをもち貢献する生徒の育成
- 学校・家庭・地域の一体化

【学校教育目標】

社会に貢献しながら自分らしくよりよく生きる生徒の育成
(社会貢献力、自己実現力を高める教育実践)

【めざす生徒像】

- ①授業(向学心をもつ)
- ②あいさつ(礼儀正しい)
- ③そうじ(奉仕の心がある)
- ④部活(連帯感をもつ)
- ⑤仲間づくり(共生心にあふれる生徒の育成)

前年度の学校評価

- ルールを守る指導や子どもの安全確保
- 学校の様子がわかるよう努力している
- △ネット依存対策・家庭学習に弱さがある
- △子どもの学習や生活について相談できる

生徒の実態

- 友達を思いやるやさしい心が育っている
- 友人関係は良好である
- 社会のルール・マナーが身についている
- △主体的に学ぼうとする力に弱さがある
- △自分の意志を伝えることに弱さがある
- △粘り強く取り組む力に弱さがある

重点目標

確かな学力の向上

- 基礎・基本の確実な定着
- 他者と協働的に学びに向かう生徒の育成
- 家庭学習の定着

具体的な取組

- 学習規律を確立するため、学びのルールを粘り強く指導し学習習慣の定着を図る
- ◎対話的で深い学びの視点に立った授業改善
- ◎タブレットの活用と学習の主体的で個別最適化を図る
- ◎特別支援や不登校生の学力・進路を保障するため、関係機関と連携し、組織的に取り組む
- キャリア教育の充実を図る

指標

全国学調・県学習到達度調査で正答率が全国、県平均を上回る
(保)勉強がわかる62%→67%
(職)家庭学習の工夫62%→67%
(職)補充学習39%→44%

豊かな心の育成

- 道徳・人権教育の充実
- いじめの未然防止、早期発見
- 生徒会活動の充実
- 体験学習・体験活動の充実

- 特別の教科「道徳」・人権教育を充実させ、人権意識の向上を図る
- ◎年間に複数回いじめアンケートを行い、いじめの早期発見・対応に努め、未然防止を図る
- ◎授業・あいさつ・部活・掃除・仲間づくりの取り組みを具現化し、実践することでコミュニケーション能力・自己肯定感・自己有用感・自己解決能力の育成を図る
- 体験学習・体験活動を通して、道徳の実践力を育成する

いじめの解消率100%
(保)登校が楽しい91%→96%
(保)自分の意志を伝える64%→69%
(保)粘り強くがんばる68%→73%

健康な体と安全な行動の育成

- 望ましい生活習慣の確立
- 体力向上の推進
- 危機回避能力の育成

- 毎日の記録などで、望ましい生活習慣の指導を家庭と連携して行う
- ◎小中・家庭と連携し、タブレット学習を推進する
- 体育の授業・部活指導等で体力の向上を図る
- 交通安全教室・救急救命法研修及び、避難訓練を計画的に行い、危機回避能力を育成する

(保)進んで学習や読書に取り組ませるよう心がけている63%→68%
(保)テレビやゲームの時間を取りすぎないように気をつけている57%→62%
(職)規則正しい生活習慣68%→73%
避難訓練の実施 年間3回以上

地域とともにある学校

- 共育コミュニティの推進
- 学校からの情報発信を強化
- 小高特支の接続、一町一中の利点を生かした学校間連携

- ◎学校運営協議会を母体として、地域の豊富な人材に協力を依頼する総合的な学習(ふるさと学習・キャリア教育・防災学習等)
- ◎スポーツ・文化芸術活動整備
- 各種便り、町HP等を通して積極的に学校の情報を発信して、授業や行事等を積極的に公開する
- 小中の円滑な接続のための取組と熊野高校との交流を推進する

(保)学校は地域や家庭と連携し、地域とともにある学校づくりに努めている90%→95%
(職)地域の人材活用は成果を上げている87%→92%
(運)共育コミュニティの推進A

◎：特に重点的に取り組むこと